

令和4年2月24日(木)

14:30～15:30

場所:盛岡二高 会議室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 4名
学校職員 9名

○日程 14:10 受付 15:30: 評議員会 (～15:30)

(1) 開会の言葉 (進行:副校長)

(2) 校長挨拶 (校長)

本校は、今年で創立125年目を迎えるが、この地に校舎が移転されてからは、本年度でちょうど100年目となる。この大切な節目の年に、様々な制約を強いられることとなったが、生徒達は力を合わせて、たくましく成長している。その生徒達の頑張りは、テレビや新聞でも、数多く取り上げられており、本日の資料の中にも、新聞記事の一部を綴り込んでいるが、他にも学校HPに掲載しているので、ぜひご覧いただきたい。

学校評価に基づく、今年度の成果と課題について、ご報告させていただくので、忌憚のないご意見をいただきたい。

(3) 令和3年度学校概況説明

ア 学校経営計画について(校長)

3 目指す学校像について

(1) 今年度の重点目標の達成状況と今後の課題について説明したい。なお、それぞれの数値目標は3年間の平均値である。

ア 教員の授業力向上による生徒の学力向上

「授業が分かる」と答えた生徒の割合が80%と昨年の70%よりも高く出た。今後の課題として、個別指導の充実、電子黒板や一人一台端末などのICT機器を活用した学習意欲のさらなる向上を目指す。

イ キャリア教育の充実と生徒希望の実現

「本校は進路実現に向けた適切な指導を行っている」と答えた生徒の割合は昨年81%であったが、今年は87%で達成された。最多の進路希望は国公立大学への進学で70名ほど希望しており、今年度は23名合格。推薦合格者は3名増加。一般入試で勝負できる学力を身につけさせたい。

ウ 部活動等の充実による主体性の育成

部活動や委員会活動では、例年を上回る実績を残した。この2年間で行えなかった伝統行事の継承が課題である。

エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止

年4回いじめ防止アンケートを実施して迅速な初期対応を心がけている。さらに情報モラル教育や人権教育を推進していく。

オ 安全・安心で開かれた学校作り

コロナ禍で活動が限られていたが、1年生の震災学習や家庭クラブの活動が評価されたものと思われる。さらに外部の専門機関と連携を深め、開かれた学校づくりを推進していく。

イ 学校評価アンケート結果について（副校長）

次第と順番がことなるが、アンケート結果から説明する。質問項目は例年と同様。11/29 から12/6の期間で今年度もスマホでの回答。生徒、保護者 578 名、教員 43 名、1199 名対象のうち 976 名回答。76%の回答率。

【分析 1】 全体的な傾向について

肯定的な評価 70%以上の項目が多いが、学習に関わる項目で低めの評価である。生徒の評価においては、すべての項目で昨年度のポイントを上回った。肯定的な評価が低い項目は「5 応用力のつく授業の実践」で生徒 65%、職員 75%である。

【分析 2】 評価が高かった項目

「7 生徒会活動や部活動の活発さ」今年度も高い評価を得た。

「20 学校徴収金の額」保護者 94%と、適正な金額ととらえていただいた。

【分析 3】 評価が低かった項目、評価が分かれた項目

「5 応用力のつく授業の実践」生徒、職員で最も評が低かったが、生徒評価は9ポイント上昇した。

「4 家庭学習・課題の点検」例年ワースト上位に入る項目であるが、今年度は三者いずれにおいてもポイントが上昇した。保護者は生徒や教員ほど家庭学習の質や量、あるいは課題点検の状況に満足していないことが分かる。

「13 保護者と連携した進路指導」生徒保護者では差はないが、教員は 95%である。

「18 P T A活動における保護者との交流・対話」保護者評価のワースト 2 位である。コロナ禍による学校行事の縮小や中止により、保護者が参加する場面や協力する場面がほぼなかったことが大きな要因と考えられる。

・学校評価とは別に授業評価アンケートを実施しており、教員が思っているほど、生徒、保護者は満足していない。基礎を徹底させたい教員と、授業を頑張っても模試で点数をとれない生徒とのギャップがあると思われる。

ウ 各課取組状況について

【総務課】（総務課主任）

1 P T A活動の活性化を図る

- ・各委員会役員を中心にまとまりのある活動をしている。
- ・P T A総会は実施できた。P T A行事についても、可能な限り従来の形に戻すよう努力する。

【教務課】（教務課主任）

1 生徒の学力向上

- ・家庭学習について、昨年はずかではあるが増加したのに対し、今年度はやや減少してしまった。

2 教員の指導力向上

- ・学習状況調査では「分かりやすい」の割合が高く、前回調査より上昇している教科が多かった。しかし、「受験に対応できる実力の養成」に関しては課題が残る。

【生徒指導課】（生徒指導課主任）

- 1 生徒規律の確立
 - ・いじめ予防アンケートでネット関係は減少。救いを求める言葉も見られなかった。
 - ・金銭の盗難があった。ロッカーに鍵をつけるか、検討中。
- 2 生徒会活動
 - ・コロナ禍で制限はされており、来年度も校外を利用。
 - ・応援歌指導が実質できなかった。応援活動の在り方を検討していかなければならない。
- 3 安全指導
 - ・交通ルール、マナーについて注意をされることが増えた。自転車のみならず、歩行も指導しなければならない。

【進路指導】（進路指導課主任）

- 1 進路意識の涵養
 - ・コロナ禍により、1 学年大学訪問を中止。
 - ・ジョブカフェ主催の社会人講話が好評。
- 2 総合型・学校推薦型選抜指導の充実
 - ・共通テストは希望受験。
 - ・総合型・学校推薦型選抜出願の実生徒は 157 名。
 - ・志望理由書作成にあたり、主体的に取り組んだ探究活動や学修計画の記載を求められる傾向が多くなった。
- 2 一般選抜指導の充実
 - ・平常課外は月火木、1 コマ 60 分。推薦期間中は 45 分。後期中間まで全員受講。
 - ・平常課外のない水金は生徒自らが進路に向けて取り組む時間とした。志望理由、グループディスカッション、小論文講座など。
 - ・大学入学共通テスト受験申込は 137/197、実受験は 133/197 名。
 - ・国公立大学一般選抜への出願は 12 名
 - ・受験しなかった者は、看護学校の受験日前日や、民間就職、専門学校希望の生徒。

【感想】

評議員：ジョブカフェ主催の社会人講話に関しては、少し上のお姉さんから話を聞くのはとても良い機会なので継続してほしい。志望理由を書けない生徒に、その子なりに何か書けるような指導をしてほしい。

【保健厚生課】（保健厚生課主任）

- ・自動検温器、自動消毒剤、ハンドソープ、ハンドジェルを設置。マイペット、消毒布巾の配布で清掃時間の消毒を実施している。
- ・加湿器の更新 11 台。
- ・カーテンの更新、第一、第二体育館カーテンのクリーニングを行った。

【教育相談】【図書】【情報・研究】については紙面の通り。

【意見・感想等】

評議員：ビブリオバトルを通して、きちんと話すためには、話す能力が大切である。能力の高い生徒はきちんと話すことができる。きちんと話すことを色々な場面で取り入れることが必要。二高生は、おとなしい生徒が多いので、積極的に話す機会を設けてほしい。

評議員：のびのびと楽しく、美人になるような学校づくりをしている。特別な教育、学問とは違うそういうものに対するあこがれ、先生からのヒントを経て、さらには周りから影響を受けて二高に生徒が集まってくるものが、二高には欠けているのではないか。新しい学校のあり方について考えていく必要がある。現在の二高は良い学校、良い生徒にすぎるとはではないか。時代に対応するためには、良い生徒を育て、さらに高校で生徒の才能を呼び出し、伸ばし、力強く生きる力、学力、精神力を引き出す必要がある。それを期待したい。

副校長：来年度から特色を出していかなければならない。特色作りが必要である。

校長：新たな試みとして、県全体でも「いわての高校魅力化グランドデザイン」の策定に取りかかっているところである。本校では、外部のパートナーと連携を取ることにしており、若者女性推進室との連携を検討している。

(4) 懇談

進行：忌憚のない御意見を伺いたい。

評議員：近隣中学校出身生徒の体操部や、卓球部での活躍が素晴らしい。コロナ禍の中で、よく我慢している。その中で自分たちの思い出を作ろうと本当によく頑張っている。外部の人を入れたり、交流をしたりが全くできないので、コロナが収まったら、連携を深めていけると良い。

副校長：人の役に立ちたいと思っている生徒が多い、10年後社会で輝く女性に育てていきたい。

校長：3/4～3/10まで、CUBEⅡで陸前高田でのボランティア活動の様子などを、パワーポイントでまとめたものを発表したりポスターも掲示したりする予定である、また、「3.11灯りのともしび」にも参加するので、生徒の活動の様子をぜひ見てほしい。

(5) その他

(6) 閉会の言葉（副校長）